

石神中学校だより 7号

発行日：令和4年 7月19日

2022重点目標「自ら学び、共に高め合いながら夢の実現のために努力する生徒」文責：校長 佐藤恭司

県中体連陸上競技大会がんばりました!

7月5日から7日までの3日間、とうほう・みんなのスタジアム（あづま総合運動公園）を会場に、県中体連陸上競技大会が開催され、本校から15名の選手が出場しました。共通女子800mに出場した3年生小林美晴さんが標準記録を突破し、福島市で開催される全国大会の切符を手に入れました。1年女子1500mに出場した1年生の日下琉楓さんは、決勝で8位入賞しました。今年度の大会では、豪雨や雷雨など天候不順により、試合中断や日程の変更があり、調整をするのが大変だったようです。そのような中でも、本校生徒らのひたむきな努力と集中した取組が光る大会でした。生徒の皆さんの心身の成長が見られた3日間となりました。今後のさらなる活躍を期待します。※大会の結果については、本校HPに掲載しています。



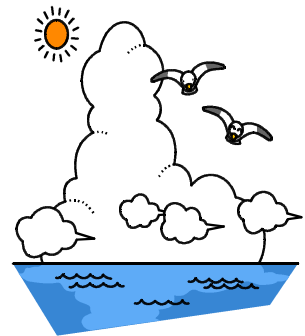
全国大会標準記録達成に向けて力走する小林さん



トップグループを維持する日下さん

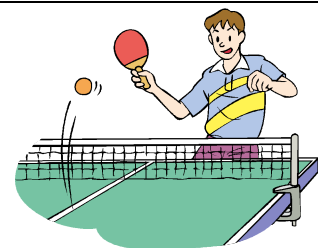
水難事故に遭わないために

夏休みは海や川、山など、アウトドアでのレジャーを楽しむ機会が増える季節です。自然に触れるレジャーは、楽しみがある反面、自然ならではの危険もあります。いったん事故が起きると、命にかかわる重大事故になる可能性が非常に高いのが、水難の特徴だといえます。水の事故を防ぐためには、自然環境の特徴を理解し、水難につながりやすい危険な場所などを知っておくことが重要です。また、ささいな不注意や無謀な行動、危険な悪ふざけが水難事故につながることも多くあります。海には、深さなどによって水温の変化が大きい場所や流れの激しい場所、海藻が茂っていて遊泳者に絡みやすい場所などがあります。こうした危険な場所は、「危険」「遊泳禁止」などと案内されていることが多いので、海岸や海水浴場の掲示や標識などをよく確認しましょう。〈政府広報より参照〉 学校から配布された夏休みの諸注意事項をよく読んで、水難事故や交通事故、自然災害等に遭わないようにしましょう。



～こころ～ 継続は力なり

今、あなたは何か続けていることがありますか。「続けていれば力がつく」という意味を持っています。小さな事でも続けていれば、いつかは大きい力となって、大きな事でも成し遂げられるというように「続けることの大切さ」を表しています。一つのことを続けるのは難しいことです。しかし、これだと思ったことを続けてみませんか。



県吹奏楽コンクール相双支部大会 〈金賞受賞〉県大会出場(2年連続)



7月17日(日)相馬市民会館を会場に、県吹奏楽コンクール相双支部大会が開催されました。本校吹奏楽部はこの大会に向けて、連日厳しい練習に取り組み小編成の部で見事金賞を受賞し、2年連続県大会出場の切符を得ることが出来ました。吹奏楽部全員が一つになって演奏に挑み、素晴らしい演奏を行うことができました。県大会は、7月29日喜多方プラザを会場に行われます。とても難しい曲ですが、部員の結束力と演奏・表現力に期待したいと思います。〈曲目〉作曲：福島弘和、「いつも風 巡り会う空」調べてみると、青森の中学生のために作られた曲である

ことがわかりました。これからの人生に立ち向かっていくような冒険の部分。しかし、その後いろいろなきれいなメロディーや遅いメロディー、切ないメロディーが流れます。私は、この曲すべてに心を打たれました。今の生徒たちと重なるもの、何かを感じたからです。その何かを子どもたちと考えていきたいと思い、この曲を選びました。演奏するときに「この吹奏楽部のメンバーが、育ち大人になっても、それぞれの場所の空を見ながら、当時の仲間の夢や希望が風となって、きっとまた巡り会える」。そんな思いを持って演奏したいと思います。

(曲目：吹奏楽部顧問 清信律子より)



第16回「少年の主張」南相馬市大会最優秀賞2名受賞!

7月14日、原町生涯学習センターを会場に第16回「少年の主張」南相馬市大会が行われました。本校から、3年生清信晴音さん、3年生石田来妃さんが出場し、それぞれに最優秀賞を受賞しました。少年の主張は、社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案、そして家庭・学校生活・社会・地域活動及び身の回りや友達との関わりなど、心に思い、考えていることや感じていることについて発表をします。清信さんの発表タイトルは「将来の自分に向けて」、石田さんは「自然豊かな南相馬市に」です。表彰の様子や作文の内容については、後日お知らせをします。おめでとうございます!



最優秀賞受賞の石田さんと清信さん

